

# 指定整備事業におけるOBD検査Q&A

- Q1 DTC照会アプリで実施したOBD検査にて不適合となった場合はどうすれば良いか？
- A1 OBD検査結果の詳細にて、検出された特定DTCを確認し、整備マニュアルを参照した上で必要な点検と整備を行った上で再度OBD検査を実施します。
- Q2 テルテールの点灯・点滅は無いがDTC照会アプリで実施したOBD検査にて不適合となった。どのようなことが考えられるか？
- A2 【確認中】過去故障等の特定DTCが検出されていることが想定されます。  
⇒A1の対応へ
- Q3 DTC照会アプリで実施したOBD検査にて警告灯判定画面が表示された場合はどうすれば良いか？
- A3 改造により排ガス規制の適用が変わった場合、または安全系のOBD検査対象装置との通信ができなかった場合は、警告灯判定画面が別ウィンドウで表示されることがあります。画面の表示に従って運転者席の警告表示を確認し、合否判定を行ってください。
- Q4 DTC照会アプリで実施したOBD検査にて排ガスOBD警告灯判定画面が表示された場合はどうすれば良いか？
- A4 運転者席の警告表示を目視により確認して、以下の判定を行ってください。  
● 排ガスに関連する警告表示がされている場合は、不適合と判定。  
● 排ガスに関連する警告表示がされていない場合は、適合と判定。
- Q5 DTC照会アプリで実施したOBD検査にて安全OBD警告灯判定画面が表示された場合はどうすれば良いか？
- A5 安全系のOBD検査対象装置との通信ができなかった場合、《安全OBD警告灯判定》画面が表示されます。  
運転者席の警告表示を目視により確認して、以下の判定を行ってください。  
● 安全系のOBD検査対象装置に関連する警告表示がされている場合は、不適合と判定。  
● 安全系のOBD検査対象装置に関連する警告表示がされていない場合は、適合と判定。
- Q6 運転席のドアを開けると、一定時間経過等により自動的にエンジン停止状態（READY OFFの状態）となる車両があるが、どのようにOBD検査を実施すれば良いか？
- A6 運転席のドアを閉めた状態で、アイドリング状態（READYの状態）を維持し、OBD検査を正しく実施することが可能です。  
なお、上記以外の方法もありますので詳しくは国土交通省事務連絡「運転席のドアを開けた状態でOBD検査が実施できない車両について（注意喚起）」をご確認ください。
- Q7 OBD検査に関する行政処分の規定はあるか？
- A7 OBD検査対象車両のOBD検査を未実施の状態を保適証交付した場合、検査の一部を実施せず適合証を交付したとされ、重大な行政処分の対象となります。また、その他にも行政処分の対象となる行為等がありますので、関係法令・通達の規定を熟知した上での運用が必要となります。  
<参考>日整連HP【OBD検査（車載式故障診断装置を活用した検査）】  
<https://www.jaspa.or.jp/member/obd/>  
「OBD検査開始に伴い新設された通達等」を参照ください。